



【外観図 _ 敷地を含む鳥瞰図 1】



【外観図 _ 敷地を含む鳥瞰図 2】



【外観図_敷地を含む鳥瞰図3】



【外観図 _ アイレベル 1】



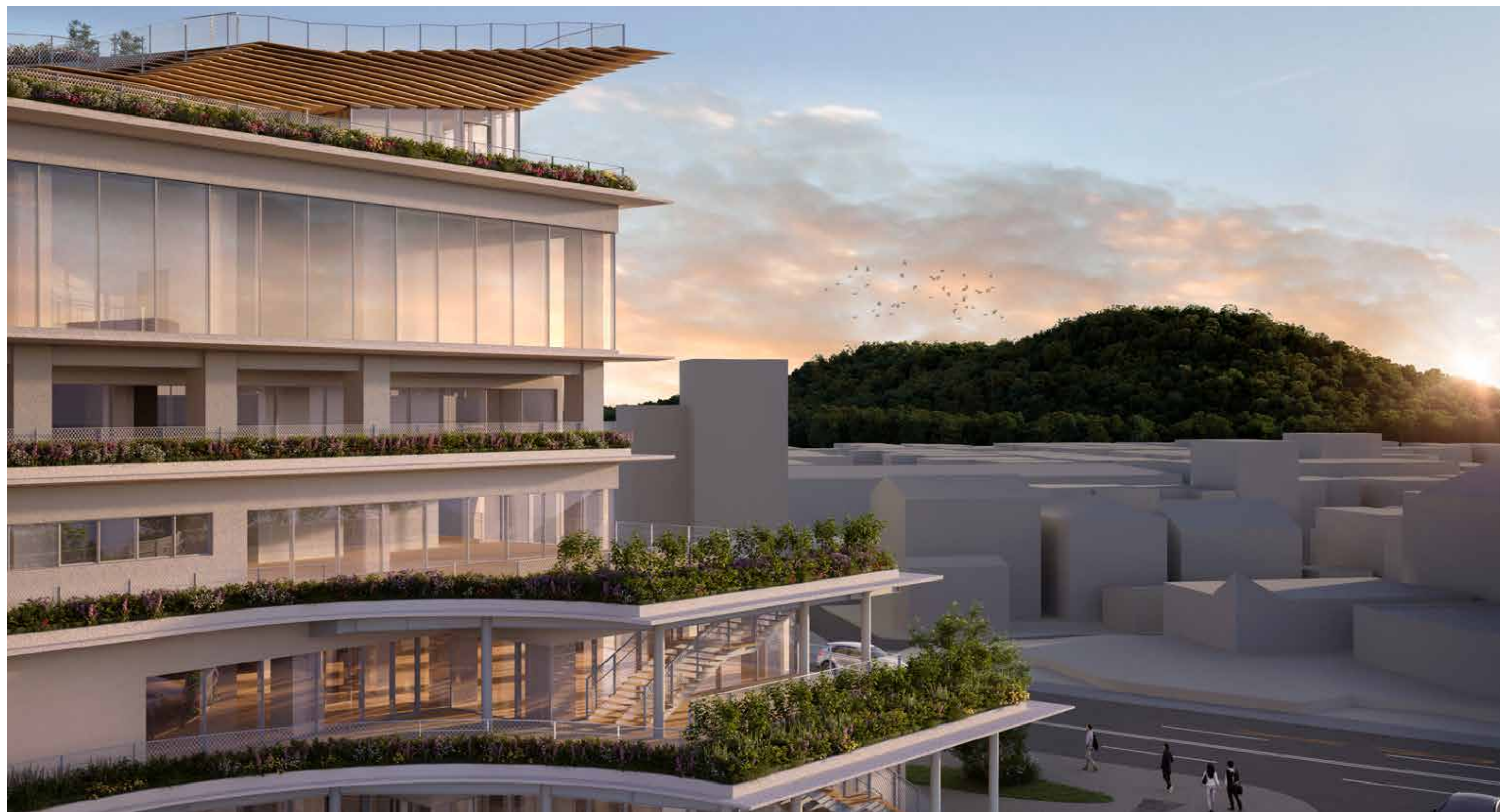
【外観図 _ アイレベル 2】



【外観図 _ アイレベル 3】



【外観図 _ 部分 1】



【外観図 _ 部分 2】



【内観図 1】



【内観図 2】



【内観図 3】



【内観図 4】

□ 設計の基本方針

新庁舎の基本設計は、令和 6 年（2024 年）3 月に策定した「羽曳野市本庁舎建替整備基本計画」で掲げた基本理念とそれを実現するための 5 つの基本方針に基づき、目指すべき庁舎像を具体化するものとして計画します。

□ 基本理念

「歴史・文化・自然を受け継ぎ安全・安心な未来を創る新庁舎」

1. 災害に強い庁舎

市役所の安全性を確保するために国土交通省が定めた耐震安全性の分類で**構造体はⅠ類、建築非構造部材は A 類、建築設備は甲類**として計画します。災害時には**災害対策本部を新本館 3 階に配置**し、特別会議室を中心とした**災害関連諸室と連携**できるような**設え**とします。災害発生後には**業務継続が可能**な建築設備を適切な位置に計画します。

2. 市民サービスの向上をめざした庁舎

利用頻度の高い窓口は**アクセスしやすい 1～2 階**に計画します。市民活動や交流の場として、**多用途利用可能な共用スペース・会議室を 2 階**に計画します。その他、誰もが利用できる**売店、市民ギャラリー、あおぞらカフェ・歴史展示ギャラリー、古墳の丘テラス**を計画します。

3. 行政機能の強化をめざした庁舎

職員の執務エリアの面積は 5 ㎡ / 人以上として、個室の必要な部署を除き、**ユニバーサルレイアウト**を基本とし、**人員の増減や部署の変更時に柔軟に対応可能な計画**とします。また、ICT を活用することにより DX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進し、**誰もが利用しやすい市役所**を目指します。

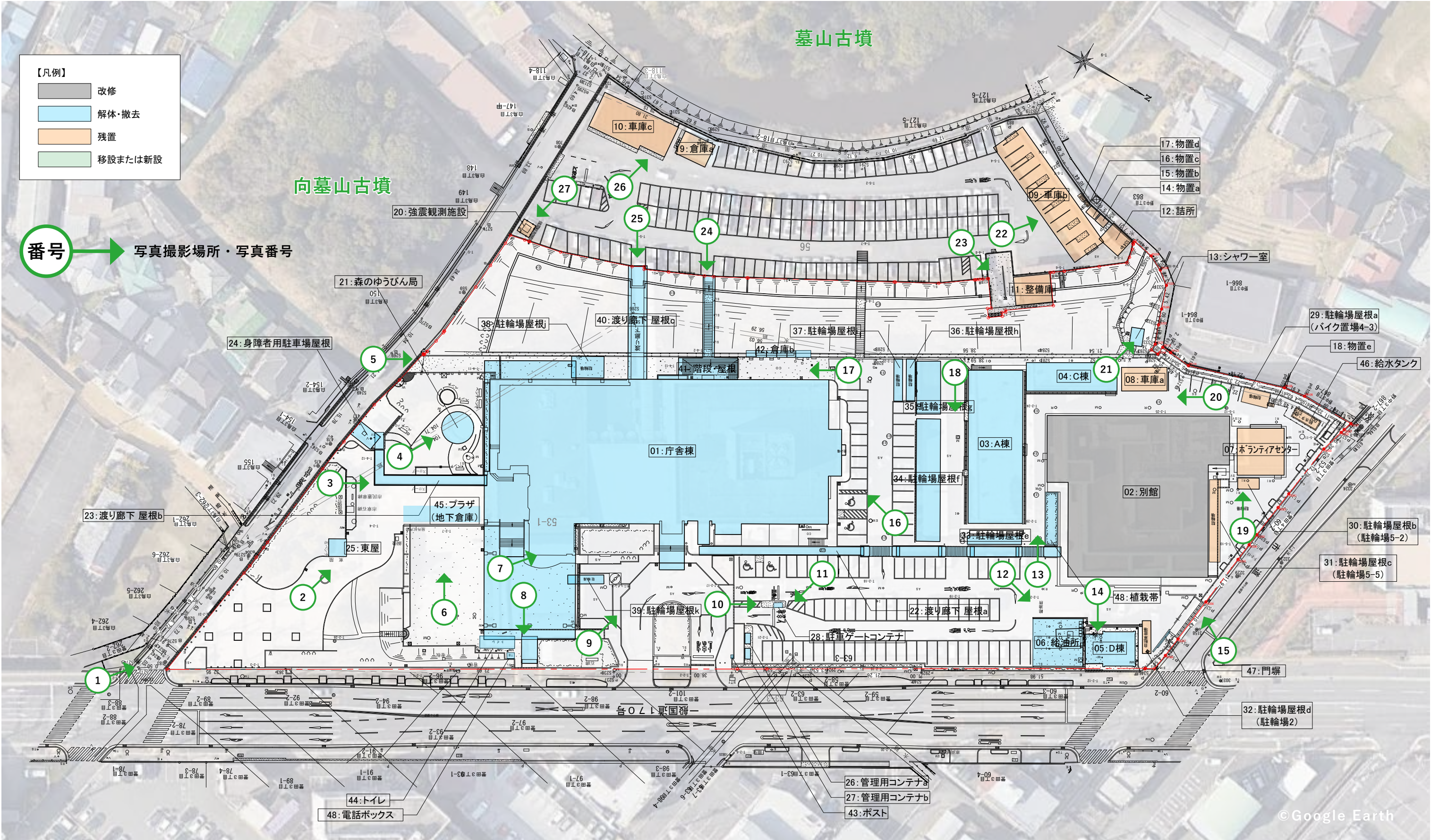
4. 環境にやさしく、経済性の高い庁舎

環境負荷低減に配慮し、**新本館で ZEB Ready 相当**を目指します。各階に水平で**深い庇と Low-E 複層ガラスの採用**により**日射による空調エネルギー消費の削減**をします。また、環境問題に配慮し、サステイナブルな**自然材料としての木材等**を利用する計画とします。

5. 歴史資産（世界遺産・文化財）と調和した庁舎

世界遺産・文化財への配慮として、**遺産影響評価（HIA）**を踏まえ、敷地全体において**古墳群の眺望と調和する有機的で緑豊かな施設**を計画します。また、**世界遺産の歴史的価値に対する理解を深め、その魅力を体感できるあおぞらカフェ・歴史展示ギャラリー**を 6 階に設けるとともに、最上階に**古墳の丘テラス**を計画します。







①計画地最南部



②現行の市民広場全体



③庁舎棟南側入口付近



④森のゆうびん局



⑤計画地南西側駐輪場及び法面



⑥プラザ（地下倉庫）



⑦現行の市民ギャラリーと南側入口



⑧庁舎棟ピロティと外部トイレ



⑨庁舎棟正面側全景



⑩庁舎棟側から見た来庁者駐車場



⑪別館側から見た来庁者駐車場



⑫給油所



⑬ A・C 棟と別館間通路



⑭ 別館側から見た D 棟



⑮ 別館正面側全景



⑯ 庁舎棟北側と法面



⑰ 庁舎棟西側と法面間の通路



⑱ A 棟西側と公用車駐車場



⑲ボランティアセンター正面



⑳別館北側通路



㉑シャワー室



㉒車庫 b



㉓整備庫



㉔庁舎棟法面階段・屋根



②⑤ 渡り廊下・屋根 3



②⑥ 車庫 c



②⑦ 強震観測所